

IBFCSM.CEDP.v2026-06-06.q50

試験コード:	CEDP
試験名称:	Certified Emergency and Disaster Professional
認定資格:	IBFCSM
無料問題数:	50
バージョン:	v2026-06-06
アクセス数:	106
ページビュー数:	500
https://www.jpnpdf.com/IBFCSM.CEDP.v2026-06-06.q50-mondaishu.html	

最新問題: 1

リソースタイピングとして知られる緊急管理の概念を表す代替手段は何ですか？

- A. 相互援助対応のニーズ
- B. 調達先の決定
- C. 適切なリスク管理の選択

Answer: A (メッセージを残す)

リソース タイプ分けは、人員、装備、チーム、施設などのリソースをその能力によって分類および説明する、国家インシデント管理システム (NIMS) の中心的な柱です。1 リソース タイプ分けの主な目的は、相互援助対応ニーズ (オプション A) を容易にすることです。2 標準化された定義を使用することで、ある州の緊急管理者は、別の州に「タイプ 1 インシデント管理チーム」または「タイプ 3 ブラシトラック」を要求し、どのレベルの能力を受け取るかを正確に知ることができます。

リソースの型付けでは、主に 3 つの記述子を使用されます。

- * カテゴリ: 広範な機能 (例: 消防、法執行、医療)。
- * 種類: 特定のアイテムまたはチーム (例: 救急車、ヘリコプター、搜索犬)。
- * タイプ: 能力のレベル (タイプ 1 が最も能力が高く、タイプ 4 が最も能力が低い)。

資源の分類がなければ、相互扶助は非効率的です。例えば、ある管轄区域が洪水対策として「ポンプ」を要請した場合、実際には大容量の産業用ポンプが必要なのに、地下室用の小型ポンプしか受け取れない可能性があります。

リソースを「入力」することで、要求は明確になります (例:「タイプ1の高容量ポンプが2台必要です」)。これにより、「適切なツール」が「適切なジョブ」に確実に割り当てられます。これは、リソースが不足し、時間が極めて重要な場合に非常に重要です。

CEDP専門家にとって、リソースの分類はギャップ分析に不可欠です。準備段階では、管理者は既存のリソースを「分類」します。分析の結果、タイプ1の能力を必要とするハザードに対してタイプ3の能力しか備えていないことが判明した場合、研修、調達、または相互援助協定を通じて埋めるべきギャップがあることがわかります。この標準化された言語によ

り、国全体でリソースの「相互運用性」が確保され、要請州のニーズと支援州が分類した資産を一致させることで、緊急管理支援コンパクト (EMAC) がシームレスに機能することが保証されます。

最新問題: 2

情報技術分野の責任を担う部門または機関はどこですか？

- A. 国土安全保障省
- B. 連邦通信委員会
- C. 米国国立標準技術研究所

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

国家インフラ保護計画 (NIPP) に基づき、国土安全保障省 (DHS) は情報技術 (IT) セクターのセクター別機関 (SSA) に指定されています。20 この責任は、DHS内のサイバーセキュリティ・インフラセキュリティ庁 (CISA) によって具体的に遂行されています。ITセクターは、ほぼすべての重要なインフラセクター (エネルギー、金融、水道など) が日常業務をITに依存しているため、「横断的」セクターとみなされています。

IT 部門の責任における DHS の役割には以下が含まれます。

- * リスク管理: インターネットやその他の重要なネットワークを実現するハードウェア、ソフトウェア、システムに対する脅威を特定し、軽減します。
- * インシデント対応: 国家サイバーインシデント対応計画 (NCIRP) を通じて重大なサイバー攻撃に対する連邦政府の対応を調整します。
- * 情報共有: IT-ISAC (情報共有分析センター) を通じて政府と民間IT企業間の脅威指標の交換を促進します。

FCC (オプションB) は通信セクター (物理的な電線と電波) に焦点を当て、NIST (オプションC) はサイバーセキュリティに使用される標準を策定しますが、このセクターの保護に関する運用および調整責任を担うのはDHS/CISAです。CEDP専門家にとって、これはDHSがサイバーレジリエンスに関する主要な窓口となることを意味します。ITセクターのセキュリティを確保することで、DHSは電力網から航空管制システムまであらゆるものを管理する「仮想システム」を保護し、国のデジタルバックボーンが自然災害と意図的な攻撃の両方に対してレジリエンスを維持できるようにします。

最新問題: 3

FEMA の状況認識の定義を説明する別の表現は何ですか？

- A. 対応に関連する様々な環境要素の意味のある理解
- B. 災害関連の状況についての一貫した心象の継続的な抽出
- C. 意思決定を支援するためにさまざまな情報源からの情報を統合するプロセス

Answer: [A \(メッセージを残す\)](#)

連邦緊急事態管理法、特にFEMAの国家事態管理システム (NIMS) の枠組みにおいて、状況認識とは「様々な環境要素の意味ある理解」と、それらの状態を近い将来に予測する能力と

定義されています。情報統合 オプションC)は状況認識に到達するための必須ステップですが、定義自体は以下の点に重点を置いています。

その情報がミッションにとって実際に何を意味するのかを「理解」することです。

FEMA は、状況認識を 3 つの異なるレベルに分割する Endsley モデルを採用しています。

* 知覚: 環境内の手がかりやデータを観察する (例: 水位の上昇、道路の封鎖)。

* 理解: それらの事実が目標にどのような影響を与えるかを理解する (例: 上昇する水により 2 時間以内に特定の病院が浸水することを知る)。

* 予測: 将来の状態を予測して、積極的な意思決定を可能にします。

状況認識の維持は、計画課とインシデント・コマンダーの第一の責任です。状況認識がなければ、対応は戦略的ではなく、事後対応的なものになってしまいます。CEDP認定資格の文脈において、状況認識とは、緊急管理者がノイズを除去し、人命安全に関わる意思決定を左右する重要な要素に焦点を当てることで、「情報過多」を回避することを可能にするものです。これは、単なる静的な「心象」(オプションB)ではなく、理解と予測の動的かつ継続的なサイクルです。この理解によって共通運用状況図 (COP)の構築が可能になり、すべての対応機関が脅威と緩和活動の進捗状況について、地域特有の共通の理解に基づいて活動できるようになります。

最新問題: 4

配管システムのどの識別カースキームが可燃性物質を示していますか？

A. 黄色の背景に黒の文字

B. オレンジ色の背景に黒い文字

C. 赤い背景に白い文字

Answer: A (メッセージを残す)

米国における配管システム識別の国際標準は ANSI/ASME A13 です。

1規格。この規格では、可燃性液体およびガス（蒸気または発火する可能性のある蒸気を発生する物質）を収容する配管には、黄色の背景に黒の文字で表示する必要があります。この特定の色の組み合わせは視認性が高く、配管内の高エネルギーの危険性について、従業員、請負業者、および緊急対応要員に即座に警告を発するように設計されています。

標準内の他の色は、異なる機能を果たします。

* 赤地に白 (オプション C): スプリンクラーの水やハロンなどの消火物質用に予約されています。

* オレンジ地に黒 (オプション B): 有毒および腐食性の液体に使用されます。

* 緑地に白: 飲料水、冷却水、ボイラー給水に使用します。

* 青地に白: 圧縮空気に使用されます。

* 茶色地に白: 可燃性液体(引火点が可燃物より高いもの)に使用します。

災害管理および危険物対応において、これらのカラーコードは現場状況把握 (Scene Size-Up)の重要な部分です。対応者が被害を受けた産業施設に入る際、配管ラベルは爆発や毒性の危険性に関する最初の手がかりとなります。黄色のラベルは、配管が破損した場合、火花や熱源が火災や爆発につながる可能性があることを示しています。CEDPカリキュラムで

は、識別は安全の第一歩」であることを強調しています。ANSI/ASME A13.1規格に準拠することで、施設は「ビジュアルライフサイクル」を標準化し、緊急時またはメンテナンス作業中に作業員や対応者が誤ったバルブを開けたり、高圧可燃性配管を誤って切断したりする可能性を低減します。

最新問題: 5

ハザード脆弱性分析を実施する場合、最初に何をすべきでしょうか？

- A. 使用する評価方法を決定する
- B. 脆弱性の範囲を評価するために専門家に相談する
- C. 脅威となる既知の危険とリスクを評価する

Answer: C ([メッセージを残す](#))

FEMAの包括的準備ガイド (CPG) 101とTHIRAプロセスで概説されているように、ハザード脆弱性分析 (HVA) を実施する際の基本的な最初のステップは、コミュニティや施設に脅威を与える既知のハザードとリスクを評価することを含むハザード識別です。4計画者が方法論 (オプションA) を決定したり、特定の専門家に相談したり (オプションB) する前に、まずハザード脆弱性分析 (HVA) を理解する必要があります。

管轄区域に潜在的に影響を及ぼす可能性のある「危険の宇宙」。

この最初のステップでは、歴史的データ、地理調査、産業記録を調査して、

「マスターハザードリスト」ハザードは通常、次の3つのグループに分類されます。

- * 自然災害: 洪水、ハリケーン、地震、山火事。
- * 技術的/人為的災害: 化学物質の流出、電力網の障害、ダムの決壊。
- * 敵対的/脅威ベースの危険: テロ攻撃、市民の騒乱、サイバー攻撃。

CEDP専門家にとって、この最初のステップは極めて重要です。なぜなら、これが緊急管理プログラム全体の範囲を決定づけるからです。局所的な地震断層などのハザードが最初に「特定」され「評価」されなければ、最終的に作成される緊急対応計画 (EOP) には根本的な欠陥が生じてしまいます。ハザードが評価されると、HVAプロセスは「プロファイリング」(発生頻度と規模の特定)と「脆弱性評価」(誰が、そして何が危険にさらされているかの特定)へと進みます。既知のハザードの包括的な評価から始めることで、組織は準備活動が現実根拠したものとなり、限られた軽減資源が生命と財産に最も大きなリスクをもたらす脅威に向けられるようになります。

最新問題: 6

公衆衛生上の緊急事態に使用するための標準化された病院ベッドの定義を開発した機関はどこですか？

- A. 食品医薬品局
- B. 医療研究・品質庁
- C. メディケア・メディケイドサービスセンター

Answer: ([解答を表示する](#))

保健福祉省 (HHS) 傘下の医療研究・品質局 (AHRQ) は、医療ニーズの急増に対応するキャパシティに関する統一的な用語を提供するために、「標準化された病床定義」を策定しました。パンデミックや多数の死傷者を伴う事故といった公衆衛生上の緊急事態においては、緊急時対応担当者が利用可能な病床の数と種類を正確に把握することが極めて重要です。この標準化以前は、ある病院では「利用可能な病床」を物理的なマットレスと定義していた一方、別の病院では専任の看護師が配置できる場合のみ「利用可能な病床」とカウントしていたというケースもありました。

AHRQ の定義では、ベッドは集中治療室 (ICU)、内科・外科、熱傷、小児科、精神科など、対応可能なケアレベルに基づいて分類されています。これらの標準化された指標により、正確な

国家医療準備プログラム (NHPR) による「HAvBED」(緊急時災害時における病院の空きベッド数) 報告 CMS オプション C) は病院の参加と診療報酬を規制し、FDA オプション A) は医療機器を規制していますが、災害計画で使用される具体的な定義は、AHRQ (オーストラリア保健省) の研究主導の指示に基づいて作成されました。

医療現場で勤務する認定救急・災害専門家 (CEDP) にとって、これらの定義は「サージキャパシティ」を計算する上で非常に重要です。緊急オペレーションセンター (EOC) が「空きベッド数50床」という報告を受けた場合、それが重症患者用のICU対応ベッドなのか、一般病棟のベッドなのかを把握する必要があります。この明確な定義により、患者の誤配置を防ぎ、最も重症の患者が適切なレベルのケアを受けられる施設に搬送されることが保証されます。また、これらの基準は、地域施設の飽和状態を明確に示すことで、国家災害医療システム (NDMS) などの連邦政府の資産の要請にも役立ちます。

最新問題: 7

是正措置管理プログラム (RAMP) の目的は何ですか？

- A. 脅威の評価と修正に関するガイダンスを提供します
- B. 学んだ教訓と賢明な実践を特定する¹
- C. 回復力/コミュニティの関与の有効性を評価する

Answer: B (メッセージを残す)

是正措置管理プログラム (RAMP) は、国家準備システム (National Preparedness System) および国家インシデント管理システム (National Incident Management System) の主要構成要素です。その主な使命は、実際のインシデント、訓練、災害から得られた教訓とベストプラクティス (技術文書では「インテリジェント」または「スマート」プラクティスと呼ばれることが多い) を特定、文書化し、共有することです。² FEMA 傘下の国家準備局 (National Preparedness Directorate) によって管理される RAMP は、事後報告書 (AAR) で特定された「教訓」を、是正措置の実施を通じて「得られた教訓」に変える。

FEMA の RAMP 原則によれば、このプログラムは緊急事態管理コミュニティ全体の「情報倉庫」として機能します。複数の事象の結果を分析することで、RAMP は相互運用可能な通信

のギャップや資源要請の遅延といった、繰り返し発生するシステム上の問題を特定し、プログラクマネージャーや上級管理職に解決を依頼することができます。これにより、管轄区域が災害のたびに「車輪の再発明」を繰り返すことを防ぎます。ここで言う「ベストプラクティス」とは、革新的または型破りな行動方針であり、特に効果的であることが証明され、同様の状況において繰り返されるべきものと定義されます。

認定緊急災害専門家 (CEDP)にとって、RAMPフレームワークは継続的改善 (CI)サイクルに不可欠です。このフレームワークは、災害の評価フェーズが単なる静的な文書ではなく、能動的な管理プロセスであることを保証します。RAMPは、教訓情報共有 (LIS)システムと統合することで、災害専門家が全国規模のネットワークを通じて、同僚によって検証された知見にアクセスできるようにします。

これにより、緊急管理組織の集合的な知恵が収集され、トレーニング、ポリシー、および機器の標準の更新に使用され、最終的には政府のすべてのレベルで将来の災害対応活動の速度と効率が向上します。

最新問題: 8

適切に設計された緊急時対応計画があらゆる組織に利益をもたらす理由を説明する代替案は何ですか？

- A. 関係機関のコミュニケーション、リソース、資産の調整を支援します
- B. セキュリティ、リソース、医療資産のより適切な管理と調整を可能にします
- C. 緊急事態管理に対するあらゆる危険へのアプローチの柔軟性をサポートします

Answer: C (メッセージを残す)

適切に設計された緊急対応計画 (EOP)の主な戦略的メリットは、あらゆる災害に対応するアプローチの柔軟性をサポートすることです。調整 (オプションA)と制御 (オプションB)は計画の成果ですが、「あらゆる災害」という理念は、FEMA (CPG 101)とIBFCISMによって承認された現代の基準です。

このアプローチでは、災害の原因はさまざまであるものの (洪水と化学物質の流出など)、必要な措置は多くの場合同じである (避難、公衆への通知、被害者のトリアージなど) ことを認識しています。

この哲学に基づいて構築されたEOPは、組織の俊敏性を維持します。50の異なるシナリオに対して50の個別の計画を用意するのではなく、適切に設計されたEOPは、コア機能と機能別付録に重点を置いています。

例えば、「コミュニケーション・アネックス」は、ハリケーンであろうと銃乱射事件であろうと、危機がどのようなものであっても同じように機能します。これにより、職員の訓練負担が軽減され、シナリオベースのモデルで具体的に「計画」されていない、新たな脅威や予期せぬ脅威に直面した際に、組織が「動けなくなる」ことがなくなります。

CEDPカリキュラムによれば、この柔軟性こそが組織のレジリエンス (回復力を確保する鍵です。硬直した計画は、想定されたシナリオから現実が逸脱した場合にしばしば失敗します。しかし、オールハザード計画は、臨機応変に適應できるモジュール式の枠組みを提供します。「計画書」よりも「計画プロセス」を重視し、部門間の連携と相互運用性を促進しま

す。災害の「共通性」に焦点を当てることで、適切に設計されたEOPは、組織があらゆる種類の対応に対応できる骨格構造を確実に備え、限られたリソースの効率を最大化し、復旧フェーズのスピードを向上させます。

最新問題: 9

救急隊員は、ジョプリンの竜巻被害者との最初の関わりで何を学んだのでしょうか？

- A. 適切に設計されたICSは、災害現場での混乱を軽減するのに貢献しました。
- B. トリアージと医療処置は、被害者の搬送よりも効果的になりました
- C. さまざまな問題への適応は、状況の流動性を促進するのに役立ちました

Answer: C (メッセージを残す)

2011年5月にミズーリ州ジョプリンで発生した竜巻への対応は、戦術的柔軟性の必要性に関するIBFCSM CEDPカリキュラムの基礎的なケーススタディとなっています。NISTとFEMAの事後報告書によると、救急隊員と初動対応者が得た主な教訓は、様々な問題への適応が状況の流動性を促進することだったということです。EF-5竜巻の規模は、標準的な通信手段をほぼ完全に機能不全に陥れ、市の主要病院（セントジョンズ地域医療センター）を破壊し、大量の瓦礫で主要交通路を遮断しました。

この混沌とした状況下では、事前に計画された手順を厳格に遵守することは不可能でした。救急車が瓦礫の散乱した道路を通行できない状況では、救急隊員はピックアップトラックやフラットベッドトレーラーといった特殊な輸送車両を活用するなど、状況に適応する必要がありました。指定施設が閉鎖されたため、駐車場や金物店に「臨時」の負傷者集積所を設けました。この「流動性」は計画不足によるものではなく、むしろ高いレベルのオペレーショナル・レジリエンス（作戦上の回復力）によってもたらされたものでした。つまり、救援隊員は任務の目的（人命の安全）を理解し、物理的な障壁を乗り越えるために自らの方法を適応させたのです。

適切に設計されたICS（オプションA）は常に目標とされているが、ジョプリン報告書によると、最初の数時間は主要なEOCと無線塔の喪失により、深刻な「ロマンドフォグ」に見舞われた。

現場要員による「ボトムアップ」の適応が事態を安定化させた。選択肢Bは誤りである。ジョプリンでは、一次病院が機能停止したため、近隣の町にある二次病院への迅速な搬送が救命の最優先事項となった。ジョプリンの事例は、壊滅的な「ブラックスワン」事象において、理想的なシステムが機能不全に陥った際に、人員が革新性を発揮し、対面式リレーを通じたコミュニケーションを行い、利用可能な地域資源を活用する能力こそが、対応の成功を確実なものにすることを証明した。

最新問題: 10

CFR 部門には輸送に関するどのような標準とガイドラインが含まれていますか？

- A. 40 CFR
- B. 42 CFR
- C. 49 CFR

Answer: (解答を表示する)

連邦規則集 (CFR)は、連邦官報に掲載される一般規則および恒久規則を成文化したものです。タイトル49 CFRは運輸に関する専門部署です。運輸省 (DOT)と国土安全保障省 (DHS)が発行する包括的な規則集で、道路、鉄道、航空、水上を含む米国におけるあらゆる輸送手段の安全、セキュリティ、運用に関するものです。

CEDP専門家にとって、49 CFRは危険物 (HazMat) 輸送管理する上で最も重要な規制文書です。具体的には以下のとおりです。

* パート 100 ~ 185: 危険物規制 (HMR) に対応し、梱包、ラベル、表示、出荷書類の要件を詳細に規定します。

* パート 300 ~ 399: 商用トラックおよびバスの安全性を規定する連邦自動車運送安全規則 (FMCSR) が含まれています。

* パート 200 ~ 299: 連邦鉄道局 (FRA) 規格に対応します。

* パート 1500 ~ 1699: 運輸保安局 (TSA) の規制に対応します。

一方、40 CFR オプションA)には環境保護庁 (EPA)の規制が、42 CFR オプションB)には公衆衛生規制 (CDCおよびCMSを含む)が含まれます。災害発生時には、49 CFRが物流対応の「ルール」を定めています。例えば、州がEMACシステムによる大量の燃料供給を要請した場合、タンクローリーは49 CFRに定められたクラス3の可燃性液体基準を遵守する必要があります。この条項を理解することは、州境を越えて資源を合法かつ安全に輸送し、鉄道脱線事故などの輸送関連事故を連邦法で義務付けられた厳格な安全基準および報告基準に従って管理するために不可欠です。

最新問題: 11

地域的な緩和計画の取り組みの中心となるべきではないものは何ですか?

A. 地域の脅威を評価し、コミュニティのリスクと懸念を優先順位付けする

B. 地方予算のプロジェクト資金能力の評価

C. コミュニティの短期的および政治的目標を考慮する

Answer: C (メッセージを残す)

災害軽減計画 (HMP)の策定においては、短期的・政治的目標ではなく、長期的なリスク軽減と人命の安全に常に「焦点」を置く必要があります。2000年災害軽減法 (DMA 2000)およびFEMAの地域軽減計画ハンドブックによれば、効果的な計画には、目先の政治サイクルや一時的な地域利益にとらわれない視点が求められます。

緩和計画が政治的目標 (オプションC)に基づいている場合、技術的に健全なインフラ整備よりも、「目に見える」ものの効果の低いプロジェクトが優先される可能性があります。例えば、地元の政治家は、洪水氾濫原に人気があるという理由で新しい公園の建設を推進する一方で、目立たないながらもより重要な排水システムの改修には資金を投入しないかもしれません。これは、ハザード特定・リスク評価 (HIRA)プロセスで提供される科学的データを無視することで、地域社会のレジリエンス (回復力を損ないます)。

逆に、オプションAとBは正当な計画プロセスの不可欠な要素です。地域的な脅威の評価 (オプションA)は計画の科学的根拠であり、予算能力の評価 (オプションB)は計画が現実的か

つ実行可能であることを保証します。資金が確保できない計画は単なる「希望リスト」に過ぎません。しかし、CEDPの専門家は、緩和策は長期的な投資であると教えられています。政治的目標は本質的に一時的なものです。地震活動や気候に起因する洪水などの災害は永続的であり、党派を超えた継続的な取り組みが必要です。緩和策を短期的な政治的勝利ではなく、長期的な土地利用計画や建築基準と整合させることで、連邦政府の補助金受給資格を維持し、地域社会が将来の世代にとって真に安全なものとなることが保証されます。

最新問題: 12

災害後のコミュニティの回復力の取り組みを評価する方法を最もよく表すものは何ですか？

- A. 回復時間の長さ
- B. 緩和効果
- C. サプライチェーンの適切性

Answer: A (メッセージを残す)

コミュニティのレジリエンスは、米国科学アカデミーとFEMAによって、予測される災害に備え、変化する状況に適応し、混乱に耐え、迅速に回復するコミュニティの能力と定義されています。緩和効果 (オプションB)は、特定のプロジェクトが物理的な被害をどの程度軽減したかを測定するものですが、レジリエントなコミュニティの真の指標は、回復時間の長さです。レジリエントなシステムとは、機能の「低下」が小さく、レジリエントでないシステムよりも早く「定常状態」または「ニューノーマル」に戻るシステムのことです。

復旧時間の評価には、被災した人々にとって電力、水道、通信、医療サービスといったコミュニティライフラインが復旧するまでの時間を測定する必要があります。国家災害復旧枠組み (NDRF)によると、復旧は短期、中期、長期の一連のマイルストーンです。高いレジリエンスを持つコミュニティは、事前に確立された緊急時対応計画と社会資本を備えており、「迅速な復旧」を可能にします。例えば、2つの都市が同じ規模の地震に見舞われた場合、6か月以内に事業所が営業を続け、住民が自宅に戻った都市は、2年経ってもテントで生活している都市よりも客観的にレジリエンスが高いと言えます。

認定緊急災害専門家 (CEDP)にとって、復旧時間を通してレジリエンスを評価することは、コミュニティの健全性を包括的に捉える上で重要です。これは、物理的なインフラだけでなく、経済的な安定性や社会的な結束も含みます。復旧期間が長期化した場合、保険の適用範囲不足、建築基準の不備、事業継続計画の不備など、準備段階または緩和段階における失敗を示唆しています。復旧時間を主要なKPI (重要業績評価指標として重視することで、緊急時管理者は復旧プロセスにおける具体的なボトルネック (許可の遅延やサプライチェーンのギャップなど)を特定し、それらの領域に将来のレジリエンス投資を集中させることで、コミュニティが次なる災害のたびに徐々に強固なものとなることを確実にすることができます。

最新問題: 13

モバイル緊急対応支援 (MERS) 分遣隊を運営している組織は何ですか？

A. 連邦緊急事態管理庁¹

B. 保健福祉省

C. 国防総省

Answer: A (メッセージを残す)

モバイル緊急対応サポート (MERS) 分遣隊は、連邦緊急事態管理庁 (FEMA) によって運営および維持されている専門の迅速対応チームです。²これらの分遣隊は、国家的重要性のある災害や事件の際に、州、地方、連邦の対応者にモバイル通信、運用サポート、ロジスティクス、発電を提供します。³MERS は、基本的に FEMA の「先制」戦術サポート機能であり、地元の商業インフラが完全に破壊された場合でも、事件指揮所 (ICP) または統合現地事務所 (JFO) が機能できるようにします。

現在、米国全土に戦略的に配置された5つのMERS対策分遣隊 ワシントン州ボセル、コロラド州デンバー、テキサス州デントン、メリーランド州フレデリック、マサチューセッツ州メイナードが活動しています。各分遣隊は、マルチ無線バン、衛星発電トラック、暖房・空調ユニットなどの車両を保有しています。

彼らの主な任務は、衛星、高周波無線、そしてIP電話回線を利用した「通信ブリッジ」を確立することです。これにより、共通運用状況図 (COP) を地域対応調整センター (RRCC) と国家対応調整センター (NRCC) に送信できるようになります。

CEDP専門家にとって、MERSの能力を理解することは、災害対策計画において不可欠です。ハリケーンや地震によって地元の携帯電話基地局や光ファイバー回線がすべて破壊された場合、MERS対策班の到着は、

組織的な救助活動に必要な「中枢」として機能する。国防総省 オプションC) も同様の機能を有しているが、軍事任務や特定の「民間当局に対する国防支援」(DSCA) 要請に基づいて利用されている。FEMAのMERSは、国家対応枠組み (National Response Framework) を支援し、最も厳しい環境下でも指揮統制構造の強靱性を維持することを目的に特別に設計された民間資産である。⁴

最新問題: 14

災害作業員に適用される OSHA 一般産業基準には何が含まれていますか？

A. 29 CFR 1904

B. 29 CFR 1910

C. 29 CFR 1926

Answer: B (メッセージを残す)

労働安全衛生局 (OSHA) の規制は、業種ごとに異なる「パート」に分かれています。29 CFR 1910には一般産業基準が含まれており、これは医療、製造、一般的な緊急対応など、災害現場で働く労働者の大部分の安全を規定する主要な規則です。瓦礫の撤去や再建作業に従事する建設労働者には29 CFR 1926が適用されるなど、他のパートが適用される場合もありますが、1910は米国における労働安全の「基盤」となっています。

29 CFR 1910 には、災害専門家にとって重要ないくつかの特定のサブパートがあります。

* 1910.120 (HAZWOPER): 危険物質の放出に対応する労働者の安全を規定します。

* 1910.134 (呼吸器保護) : 呼吸器を使用する労働者に対する適合テストと医学的評価を義務付ける。10

* 1910.38 (緊急行動計画) : 雇用主は避難と火災安全のための書面による計画を持つことを義務付けています。11

* 1910.1030 (血液媒介性病原体): 対応者を感染性物質への曝露から保護します。

オプションA (1904)は労働災害および疾病の記録と報告に関する規定を具体的に規定しており、オプションC (1926)は建設業に関する規定を規定しています。CEDP受験者にとって、1910は職場安全の「バイブル」と言えるでしょう。

OSHAの「一般義務条項」 OSH法第5条(a)(1))では、特定の災害関連の危険が基準に記載されていない場合でも、雇用主は認識されている危険のない職場を提供しなければならないと規定されています。災害発生時には、OSHAはしばしば「技術支援」の役割に移行し、現場指揮官が従業員へのリスクを特定するのを支援しますが、1910年の基準に従うという根本的な法的要件は、対応者が被害者にならないようにするために引き続き有効です。

最新問題: 15

自然災害に対して効果的な対応を確実に行うために何が役立つでしょうか？

A. 過去の災害を分析し、そこから得られた教訓を伝える

B. 共同計画セッションを通じてコミュニケーションを強化する

C. 地方、地域、州レベルでのパートナーシップの構築

Answer: C (メッセージを残す)

提供されているすべての選択肢は緊急事態管理に貢献しますが、効果的な対応の最も基本的な要素は、地方、地域、そして州レベルでのパートナーシップの構築です。これは、FEMA (連邦緊急事態管理庁と国家防災目標 National Preparedness Goal)が提唱する「コミュニティ全体」アプローチを反映しています。大規模な自然災害においては、単一の機関や管轄区域だけでは対応を単独で管理できるリソースを持つことはできません。パートナーシップは、事前における関係構築を促進し、事後における効率性の向上につながります。

パートナーシップは、階層的対応における「結合組織」です。地方レベルでは、消防署が地方公共事業局や民間の公共事業会社と協力関係を築くことを意味します。地域レベルでは、相互援助協定 (消防と警察が締結している協定など)がこれに該当します。州レベルでは、州兵と州レベルの緊急支援機能 (ESF)の統合がこれに該当します。

CEDPカリキュラムによれば、「災害現場で初めて名刺交換をするなんて、望ましくない」このことです。オプションAとBはパートナーシップによって実現する活動ですが、パートナーシップ自体が前提条件となります。例えば、共同計画 (オプションB)は、パートナーシップが確立されている場合にのみ実施されます。こうした多層的なパートナーシップにより、資源要請が円滑に行われ、専門的な資産が把握・利用可能となり、管轄区域の境界に関する共通理解が確保されます。この「ソーシャルキャピタル」は、あるコミュニティが他のコミュニティよりも早く復興する主な理由としてしばしば挙げられます。確立された

パートナーシップを通じて築かれた信頼は、迅速な意思決定と、被害を最小限に抑える統一された取り組みを可能にします。
複雑な災害対応に内在する「摩擦」。

最新問題: 16

Ready Rating で緊急時計画情報をオンラインで提供している組織はどこですか？

- A. 連邦緊急事態管理庁
- B. 国立消防庁
- C. アメリカ赤十字社

Answer: C (メッセージを残す)

Ready Ratingは、アメリカ赤十字社が企業、学校、その他の組織が緊急事態への備えを強化できるよう支援するために開発した、無料の会員制プログラムです。8FEMA オプション A)は有名なウェブサイト「Ready.gov」を運営していますが、「Ready Rating」ツールとそれに関連する評価ダッシュボードはアメリカ赤十字社独自のものです。このプログラムは、組織が現在の備えのレベルを体系的に評価し、改善のためのカスタマイズされた推奨事項を受け取るための方法を提供します。

Ready Rating システムは、いくつかの主要な領域にわたって組織のパフォーマンスを測定する「23 アセスメント」に基づいています。

- * コミットメント: 計画プロセスにリーダーシップが関与していることを確認します。
- * 評価: 危険性と内部の脆弱性を特定します。
- * 計画: 緊急時対応計画 (EOP) を策定します。
- * トレーニング: 訓練および従業員の安全教育を実施します。

民間セクターやNGOで働くCEDP専門家にとって、Ready Ratingは事業継続性と社会資本の構築に役立つ貴重なツールです。常勤の緊急管理者がいない可能性のある中小規模の組織に、専門家レベルの計画テンプレートとハザードチェックリストを提供することで、赤十字の災害対策の使命に合致しています。Ready Ratingスコアを活用することで、組織は前年比での進捗状況をベンチマークし、ステークホルダー、従業員、保険会社に対して安全への取り組みを示すことができます。このプログラムは、非政府組織が自らの災害レジリエンスを主体的に構築できるよう支援することで、「コミュニティ全体」による災害対策アプローチを体現しています。

有効な **CEDP** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CEDP 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **CEDP** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CEDP 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CEDP 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/IBFCSM/CEDP-mondaishu.html>
(148**30%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

公衆衛生準備能力を調整する組織は何ですか？

A. ASPR

B. DHS

C. CDC

Answer: C (メッセージを残す)

公衆衛生と医療準備は共通の責任ですが、具体的な公衆衛生緊急事態準備 (PHEP) 能力は、疾病予防管理センター (CDC) によって開発・調整されています。CDCは、州、地方、部族、および領土 (SLTT) の保健局が計画策定に活用し、連邦政府の補助金交付を正当化するための国家基準として、「15の公衆衛生準備能力」を策定しました。

15 の PHEP 機能には次のものが含まれます。

- * コミュニティの備え
- * コミュニティの復興
- * 緊急時対応調整
- * 緊急広報情報および警告
- * 死亡管理
- * 情報共有
- * マスクケア
- * 医療対策の調剤と投与
- * 医療物資の管理と配布
- * 医療サージ
- * 非医薬品介入
- * 公衆衛生監視と疫学調査
- * 公衆衛生検査所
- * レスポンダーの安全と健康
- * ボランティア管理

対照的に、ASPR オプションA)は、病院や医療連携に重点を置く「医療準備能力」を調整します。CDCの焦点はより広範で、臨床検査（能力3）や疫学調査（能力2）といった公衆衛生基盤の基盤にまで及びます。CEDP専門家にとって、CDCの基準は地域保健レジリエンスの「基準」となります。保健局がPHEPの資金を獲得した場合、これらの特定の機能を遂行する能力を示す責任が課されます。これにより、国の公衆衛生システムは、単に疾病に対応するだけでなく、自然災害から生物兵器攻撃まで、あらゆる危険による健康への影響を管理できる、強固で能力に基づいた盾となることが保証されます。

最新問題: 18

割り当てられた保護係数の呼吸器の概念を定義するものは何ですか？

A. 呼吸器保護を定性的に評価して決定された個人疾病係数

B. 適切に装着されたデバイスを正しく装着した個人に与えられる保護レベル

C. 呼吸器官の承認前にNIOSHが許容できるとみなす保護レベル

Answer: B (メッセージを残す)

指定保護係数 (APF) は、OSHA が定義した測定基準 (29 CFR 1910.134) であり、雇用主が継続的かつ効果的な呼吸保護プログラムを実施する際に、呼吸器または呼吸器のクラスが従業員に提供することが期待される職場の呼吸保護レベルを表します。

具体的には、適切に装着されたデバイスを正しく装着した個人に与えられる保護のレベルです。

例えば、APFが10の場合、その呼吸器は許容曝露限界 (PEL) の10倍までの空気汚染物質から着用者を保護できることを意味します。危険物質の濃度がPELの50倍の場合、少なくともAPFが50の呼吸器（例えば、全面型空気清浄呼吸器）を使用する必要があります。APFは、単純な半面型呼吸器の10から、陽圧式自給式呼吸器 (SCBA) の10,000までの範囲です。

CEDP および HAZWOPER のコンテキストでは、APF は適切な PPE を選択するために使用される「安全乗数」です。

計画担当者は、呼吸用保護具 (APF) は、毎年実施されるフィットテストによって呼吸用保護具が「適切に装着」され、使用者が「正しく」着用する訓練を受けている場合にのみ有効であることを理解する必要があります。使用者の顔の毛が密閉を妨げる場合、汚染された空気は密閉の隙間を通して抵抗が最も少ない経路を通るため、APFは実質的にゼロになります。選択肢Cは誤りです。なぜなら、NIOSHが呼吸用保護具を承認する一方で、OSHAは規制遵守と現場安全計画に使用される防護係数を割り当てているからです。APFを理解することは、災害対応者が有毒な雰囲気中に立ち入るとき、十分な防護を受けられない状況に陥らないようにするために不可欠です。

最新問題: 19

リーダーシップと密接に関連する古典的な管理機能は何ですか？

- A. 調整
- B. 監督
- C. 制御

Answer: ([解答を表示する](#))

古典的な経営理論 (アンリ・ファヨールのような思想家によって開拓された) において、指導機能はリーダーシップと最も密接に関連しています。8指導は、マネジメントにおける人間中心の要素です。

「計画」と「組織化」は組織の構造的および論理的な設定を扱い、「指導」は組織の目標を達成するために従業員に影響を与え、導き、動機付ける積極的なプロセスを伴います。

これは、マネージャーがリーダーシップスキルを使用して作業を開始する「アクション」フェーズです。

指導機能は、リーダーシップを重視するいくつかのタスクによって特徴付けられます。

* 指示の発行: 明確で実行可能な命令を伝えます (インシデント アクション プランの作業割り当てと同様)。

* 動機付け: 特に災害時の高ストレス状況下で、職員が最高のパフォーマンスを発揮できるように奨励します。

* 監督: 安全性と効率性を確保するための監督を提供します (管理範囲を維持します)。

* カウンセリング:現場での業務上または個人的な課題を克服できるように部下を指導します。

認定緊急災害対策専門家 (CEDP)にとって、指揮／リーダーシップ機能は、インシデント・コマンド・システム (ICS)が冷たく官僚的な組織にならないようにするためのものです。調整 (オプションA)は、計画部門や連絡部門が担当することが多い構造的なタスクであり、管理 (オプションB)は、計画に対する成果を測定する管理タスクです。インシデント・コマンドの「ソフトスキル」が求められるのは、まさに指揮です。危機的状況において、効果的な「指揮」は、対応者が任務に集中し、安全プロトコルを遵守し、長期的な活動を維持するために必要な士気を維持することを保証します。指揮機能におけるリーダーシップは、分散した機関のグループを、決定的な行動をとることができる「統合指揮」へと変貌させます。

最新問題: 20

インシデント コマンド システムの使用を指定する EOP を開発する際に、計画者はどのようなカテゴリまたはタイプの情報を理解する必要がありますか？

- A. 重大な危険と脅威
- B. 対応機関の責任
- C. 必要な機能の決定

Answer: C (メッセージを残す)

インシデント・コマンド・システム (ICS)を活用した緊急対応計画 (EOP)を策定する際には、計画担当者は優先順位を決定し、必要な機能を特定する必要があります。ICSは機能別管理システムであり、特定の機関名や役職ではなく、タスクと目標を中心に構成されます。この機能的アプローチにより、インシデントの進展に応じて組織をモジュール的に拡張・縮小することが可能になります。

全体的な計画プロセスには危険性の理解 (オプション A)と機関の責任 (オプション B)が必要ですが、「ICS の使用」では特に、次の 5 つの中核機能領域を特定する必要があります。指揮、運用、計画、ロジスティクス、そして財務/管理。例えば、EOPでは「ロジスティクス機能」の運用方法 (リソースの発注方法と追跡方法)を定義する必要があります。これは、特定の日にどの部署 (消防警察、公共事業)が実際にその機能に人員を投入しているかに関わらず、必須です。

NIMS (国家災害管理システム)の原則によれば、「機能」は対応の構成要素です。計画立案者は、それぞれのコミュニティにとってどの機能が重要であり、災害発生時にどのように機能するかを決定する必要があります。これにより、機関 (例:市長室)ではなく、機能要件 (例:広報)に焦点を当てることで、「誰が何を担当するのか」という混乱を防ぐことができます。

CEDP プロフェッショナルにとって、これは EOP が単なる名前のリストではなく、これらの ICS モジュールがどのように連携してインシデントを安定させるかを説明する機能ロードマップであることを保証することを意味します。これにより、現場に赴く前に必要な機能ギャップがすべて解決されることが保証されます。

最新問題: 21

核爆発時の生存の可能性を決定する要因は何ですか？

- A. 核爆弾の大きさ
- B. 配信メカニズムの種類
- C. 爆発地点までの距離

Answer: C ([メッセージを残す](#))

核兵器の威力（大きさ）と運搬方法は重要な変数ですが、個人の即時生存にとって最も重要な要因は、爆発地点への距離です。国家計画シナリオ1（核爆発とCDCの放射線緊急事態ガイドラインによると、生存は時間、距離、遮蔽という3つの物理的要因によって決定されます。

近さは、核爆発の3つの即時的影響への曝露レベルを直接的に決定します。

* 熱放射: 近距離では、強烈な閃光により、即座に焼死したり、致命的な第3度熱傷を引き起こします。

* 爆風過圧: 衝撃波は建物を倒壊させる「静的過圧」を発生させます。人が「完全破壊」ゾーンにいるか「被害」ゾーンにいるかは、近接性によって決まります。

* 初期放射線: 高エネルギー中性子とガンマ線は、爆発現場から最初の数キロメートル以内で最も致命的です。

たとえ小型の核兵器（10キロトンの即席核兵器、INDなど）であっても、爆弾の設計に関わらず、爆心地付近にいた人々の死亡率はほぼ100%に達します。距離が離れるほど、個人が「伏せて身を隠す」や「屋内にとどまり、注意を怠らない」といった迅速な防護行動を取れば、生存率は飛躍的に向上します。CEDP専門家にとって、トリアージとゾーニングを行うには、近接性を理解することが不可欠です。核災害では、対応は医療介入がまだ可能な「軽度被害」および「中等度被害」の区域に重点的に行われます。「重度被害」区域（最も近接した区域）にいる人々は、インフラの破壊によって救助が不可能なため、しばしば死に至る可能性が高いとみなされます。爆発直後の生存は、放射性粒子を風が運ぶ放射性降下物プルーム（煙霧）への近さにも左右されます。したがって、爆心地からの距離は、個人が確実に死亡するか、あるいは管理可能な傷害を負うかを決定する主な要因となります。

最新問題: 22

連邦政府のインシデント行動計画ガイドに記載されている主な推奨事項のうち、緊急時計画セッションをより成功させるのに役立つものは何ですか？

- A. 参加者間の年功序列の確立
- B. 明確な目標を伝えるファシリテーターを任命する
- C. すべてのプロセスの効率的かつ効果的な実施を確保する

Answer: ([解答を表示する](#))

連邦事案行動計画（AP）ガイドとFEMAのNIMSドクトリンは、計画会議の構成自体が、最終的な計画の質を左右する重要な要素であることを強調しています。会議を成功させるための重要な推奨事項は、明確な目標を伝えるファシリテーターを任命することです。緊急対

応センター EOC)のようなプレッシャーの大きい環境では、計画会議には消防、警察、公衆衛生、公共事業など、さまざまな関係者が関与することが多く、それぞれの優先事項が競合する場合もあります。ファシリテーターは、会議が個々の機関の議題ではなく、事案全体の目標に焦点を当て続けるよう支援します。

年功序列」オプションA)は指揮系統において重要ですが、下位の専門家が威圧感を感じたり、技術的な知見を提供できなかつたりすると、計画セッションの進行を阻害する可能性があります。IAPプロセスは、協調的かつ機能的に設計されています。オプションC (効率性の確保)は、一般的に望ましい成果ですが、セッションの実施に関する具体的な「推奨事項」ではありません。むしろ、効率性は優れたファシリテーターの存在によって得られる副産物です。

CEDPカリキュラムでは、ファシリテーター (多くの場合、計画課長)がチームを「計画P」サイクルに沿って進める責任を負います。これは、状況認識から目標設定、そしてリソース割り当てへと移行するプロセスです。議題と明確な目標を徹底させるファシリテーターがいなければ、会議は「戦時中の戦い」や業務上の「サイロ化」に陥りがちで、真のインシデント行動計画に必要な調整が失われてしまいます。優れたファシリテーターは、セッション終了までにすべての参加者が次の運用期間における「何を、誰が、いつ」行うかを把握できるようにします。これは、プロフェッショナルな緊急管理組織の証です。

最新問題: 23

EPA は有害廃棄物発生者に対して緊急時対応計画の策定を義務付けていますか？

- A. 大規模な化学物質放出イベント中の通信リンクの確立を確保する
- B. 偶発的な有害物質の放出による環境への損害を防止または最小限に抑える
- C. 有害物質規制法の規制要件を満たす

Answer: B (メッセージを残す)

資源保全回収法 (RCRA)、具体的には 40 CFR Part 264/265 Subpart D に基づき、環境保護庁 (EPA) は、有害廃棄物の発生者 (特に大量発生者) が正式な緊急時対応計画を作成し、維持することを義務付けています。1 この要件の主な目的は、火災、爆発、または有害廃棄物または有害廃棄物成分の空気、土壌、または地表水への予期しない突然の放出や非突然の放出による、人間の健康や環境への損害を防止または最小限に抑えることです。

RCRA 緊急時対応計画は、インシデントが発生するたびに直ちに実行する必要がある「生き字」文書です。2 これには、次のような特定の要素が含まれている必要があります。

- * 緊急時手順: 施設の職員が放出に応じて取らなければならない措置の説明。
- * 調整協定: 地元の警察、消防署、緊急対応チームとの取り決めに文書化したもの。
- * 緊急コーディネーター: 計画を実行するために必要なリソースを割り当てる権限を持ち、24 時間 365 日対応可能な指定された個人。3
- * 設備リスト: 施設内のすべての緊急設備の最新リスト (例: 消火器、流出防止設備、除染用品)。
- * 避難計画: 避難を開始するための合図と一次/二次避難経路の説明。

CEDP専門家にとって、緊急時対応計画は日常業務と災害対応をつなぐ重要な架け橋です。オプションCは有害物質規制法（TSCA）を指し、この法律は主に新規または既存の化学物質の市場への導入を扱っています。一方、RCRAは廃棄物と緊急時対応計画のプロセスを規定しています。EPAはこれらの計画を義務付けることで、施設が事故に見舞われる事態を未然に防ぎます。この計画は、「初期対応」が規律正しく効果的に行われることを確保し、局所的な流出が大規模な環境災害へと連鎖的に発展し、地域の帯水層を汚染したり、スーパーファンド（CERCLA）に基づく大規模な連邦政府介入を必要とする事態を未然に防ぎます。

最新問題: 24

米国南東海岸付近にある病院の緩和の優先事項は何ですか？

- A. 非常用発電機を高水位から保護できる場所に移設する
- B. 十分な食料、衛生資源、飲料水の供給を確保し、循環させる
- C. 少なくとも96時間運用を継続するためのリソースの可用性を確保するための措置を講じる

Answer: A (メッセージを残す)

ハリケーンや高潮の発生リスクが高い米国南東部の海岸沿いに位置する病院にとって、災害軽減策の優先事項は、非常用発電機を高所の安全な場所に移設することです。災害軽減策とは、災害の影響を軽減することで人命と財産の損失を減らすための、長期的かつ構造的な取り組みと定義されます。

ハリケーン・カトリナ（ニューオーリンズ）とハリケーン・サンディ（ニューヨーク）の教訓は、発電機や切替スイッチといった重要なインフラ設備を地下室や1階に設置することが壊滅的な脆弱性につながることを証明しました。これらの地域が浸水すると、病院は生命維持装置を含むすべての電力を失い、危険な大規模避難を余儀なくされます。

緩和策と準備措置を区別することが重要です。オプションB（供給品のローテーション）とオプションC（96時間持続可能）はどちらも準備と対応の活動です。合同委員会規格

EM.02.01.01では、病院が96時間自立して活動を継続できることが求められていますが、これは「能力」目標です。6発電機の移設は「緩和」プロジェクトであり、洪水時の停電リスクを恒久的に軽減するための、物理的で、多くの場合高額な建設変更です。

FEMA（連邦緊急事態管理庁）の災害軽減支援ガイドラインとCEDP（災害軽減計画）カリキュラムによると、重要施設の「強化」は、業務継続性を確保する最も費用対効果の高い方法です。沿岸部の病院の場合、これにはハリケーン耐性ガラスの設置、屋根の補強、そして最も重要な点として、病院の「心臓部」（電力システム）を500年洪水位より高くすることが含まれます。これらの構造変更を行うことで、病院はたとえ水に囲まれていても、「地域のライフライン」としての使命を果たし、地域社会が最も必要とする時に機能を維持し、患者のために安全に機能し続けることができます。軽減とは、「インテリジェントなエンジニアリングと敷地設計を通じて、災害被害のサイクルを断ち切る」ことです。

最新問題: 25

卓上演習を実施することの重要性を最もよく表す代替案は何ですか？

- A. 訓練や演習では十分に再現できないシナリオに対処する
- B. 相互援助対応の責任と優先順位を調整し比較する
- C. コミュニティ対応機関間のコミュニケーションと調整を改善する

Answer: ([解答を表示する](#))

国土安全保障演習評価プログラム (HSEEP) の定義によると、テーブルトップ演習 (TTX) とは、主要職員がストレスの少ない非公式な環境で集まり、緊急事態における役割や特定の状況への対応について話し合うディスカッションベースのイベントです。25最も重要な成果と

TTX の 重要性」は、コミュニティ対応機関間のコミュニケーションと調整を改善することです。

26

卓上演習は、意思決定プロセスと計画の 適合」に焦点を当てている点で独特です。

27 これらは、実際の事件のプレッシャーを受ける前に、さまざまな部門の責任者 (消防、警察、公共事業、民間パートナー) がテーブルを囲んで座り、誰が何をするか」を確認できる安全な環境を提供します。

28このプロセスは次のことに役立ちます。

* 役割の明確化: 誰がインシデント指揮官であるか、または誰が公開情報機能を管理するかについて混乱がないことを確認します。

* ギャップを特定する: 2 つの機関が同じ無線チャネルまたは同じステージング領域を使用することを想定しているかどうかを検出します。

* 関係を構築する: 実際の災害時に信頼関係を築くために必要な 「ソーシャル キャピタル」を確立します。

オプションAは部分的には正しいと言えるでしょう。机上演習は、実地訓練では危険すぎる壊滅的なシナリオ (核爆発など) に対処できますが、その主な価値は調整機能にあります。CEDPカリキュラムでは、机上演習 (TTX) は 計画の作成」と 本格的な訓練の実施」をつなぐ重要な橋渡し役とされています。机上演習中にコミュニティが 紙上」で対応策をうまく調整できなければ、実地訓練では確実に失敗するでしょう。したがって、机上演習は、すべての機関が国家インシデント管理システム (NIMS) と地域の緊急対応計画 (EOP) に沿って行動することを保証する、基礎的な 協調」ツールとして機能します。

最新問題: 26

テロ兵器として使用される可能性のある化学物質の分類リストから除外されるタイプの人的危険を表す用語は何ですか?

- A. 血液エージェント
- B. 水疱剤
- C. 肝臓薬

Answer: C ([メッセージを残す](#))

テロリズムや災害対策計画で使用する化学兵器 (CWA) および毒性工業化学物質 (TIC) の分類において、肝剤」という用語は認められていません。従来の化学脅威は、人体への生理

学的影響に基づいて、神経剤、びらん剤（水疱剤）、血液剤（シアン化物）、窒息剤（肺剤）の4つの主要なカテゴリーに分類されます。

血液剤（オプションA）は、シアン化水素など、細胞レベルでの酸素利用能力を阻害します。水疱剤（オプションB）は、硫黄マスタードやルイサイトなど、皮膚や呼吸器に重度の化学火傷を引き起こします。一部の化学物質は、二次的影響として、あるいは長期の慢性曝露によって、最終的に臓器障害（肝毒性や肝臓障害を含む）を引き起こす可能性があります。肝臓剤はCDC、OSHA、化学兵器禁止機関（OPCW）が急性テロ兵器を指す際に用いる戦術的分類ではありません。

認定緊急災害専門家（CEDP）にとって、これらの分類を理解することは、適切な医療対策と個人用保護具（PPE）を特定するために不可欠です。例えば、神経剤にはアトロピンと2-PAM塩化物の迅速な投与が必要であり、血液剤にはシアン化物解毒剤が必要です。神経剤、水疱剤、血液剤、窒息剤といった認識されている分類に重点を置くことで、緊急管理者は検知プロトコルとトリアーangepプロセスを効率化できます。肝臓剤のような非標準的な用語を除外することで、対応者は最も可能性の高い化学テロの脅威に関連する、生命を脅かす急性症状に集中することができます。

最新問題: 27

NIMS の目的を正式に文書化したものは何ですか？

- A. 緊急時対応計画
- B. すべての危険性評価文書
- C. インシデント対応計画

Answer: C (メッセージを残す)

国家インシデント管理システム（NIMS）およびインシデント指揮システム（ICS）において、インシデント行動計画（IAP）は、特定の運用期間におけるインシデント固有の目標を正式に記録した文書です。NIMSでは、目標とは、インシデント発生時に達成すべき目標を記述したものと定義されています。これらの目標は、SMART（具体的、測定可能、実行可能、現実的、期限付き）でなければなりません。

IAPは、所属機関に関わらず、すべての対応要員が統一された目標に向かって活動することを確実にします。IAPは通常、計画Pサイクル中に策定されます。インシデント・コマンダー（または統合指揮官）が全体的な戦略目標を設定し、それらはIAP内の戦術目標と作業割り当てへと反映されます。緊急対応計画（EOP）（オプションA）は、コミュニティの対応のための一般的な枠組みと方針を提供しますが、静的な文書です。IAPは、「災害の変化する現場の真実」を反映し、運用期間ごと（例：12時間ごとまたは24時間ごと）に更新される動的な文書です。

CEDPカリキュラムでは、IAPは目標管理の主要なツールとみなされています。IAPには目標だけでなく、組織図（ICS 203）、医療計画（ICS 206）、安全メッセージ（ICS 208）も含まれます。これらの目標をIAPに正式に文書化することで、指揮命令系統は説明責任と努力の統一性を確保します。インシデントにチェックインするすべての対応者はIAP またはそれに

基づくブリーフィング)を受け取り、自分に何が期待されているか、そして自分の任務がインシデントの全体的な安定化と公衆の安全にどのように貢献するかを正確に理解します。

最新問題: 28

どのような種類の事件の場合、地域住民にヨウ素を投与する必要があるでしょうか？

- A. 熱核爆発後の放射性降下物
- B. 医療施設からの放射性セシウムの放出
- C. 原子力発電所からの放射性降下物

Answer: C (メッセージを残す)

ヨウ化カリウム (KI)の投与は、原子力発電所 (NPP)からの放出や原子炉事故の重要な副産物である放射性ヨウ素 (I-131)から甲状腺を保護するための特別な防護策です。原子炉の炉心が損傷すると、I-131が大気中に放出される可能性があります。吸入または摂取（汚染された牛乳や食品を介して）すると、甲状腺はこれを急速に吸収し、特に小児において甲状腺がんのリスクを大幅に高めます。

KIは、安定した非放射性ヨウ素で甲状腺を飽和させることで作用します。甲状腺が「満杯」になると、放射性ヨウ素を含め、それ以上のヨウ素を吸収できなくなり、放射性ヨウ素は安全に体外に排出されます。

しかし、KIは甲状腺と放射性ヨウ素のみを保護します。セシウム137 (オプションB)のような他の放射性核種や、熱核爆発で発見される多様な同位体 (オプションA)に対する保護は提供しません。熱核爆発では、ヨウ素131が存在する間は、爆風、熱、その他の同位体による直接的な脅威があまりにも大きいため、KIの投与は「屋内退避」または避難に次ぐものとなります。

CEDP資料に含まれるNRC（原子力規制委員会とCDC（米国疾病対策センター））のガイドラインによると、KIは原子力発電所から10マイル（約16キロメートル）の緊急計画区域（EPZ）内に居住する住民に配布されます。KIは被ばく直前または被ばく直後に服用すると最も効果的です。緊急時管理者は、KIが全身を防御する「放射線治療薬」ではなく、甲状腺に特化した対策であることを住民に強調する必要があります。この区別は、KIを服用すれば「汚い爆弾」や、ヨウ素131が存在しない可能性のある医療施設からの漏洩の影響を受けないと考える住民の誤った安心感を防ぐために、公衆衛生コミュニケーションにおいて非常に重要です。

最新問題: 29

連邦合同現地事務所の目的を説明する代替案は何ですか？

- A. 対応機関の調整場所として機能する臨時施設
- B. 運用、通信、およびリソースを管理する一時的な施設
- C. 対応行動を支援するための指揮センターとして機能する恒久的な施設

Answer: B (メッセージを残す)

合同現地事務所 (JFO)は、大統領による宣言を受けた災害の管理を円滑に進めるために、現地に設置される複数機関による臨時の調整センターです。国家対応枠組み (NRF)による

と、JFOの主目的は、連邦政府、州政府、部族政府、地方自治体、そして民間セクターや非政府組織が、特定の災害に関する活動、通信、およびリソースを管理するための中核拠点を提供することです。

JFOは、通常、連邦調整官 (FCO) と州調整官 (SCO) で構成される統合調整グループ (UCG) によって主導されます。通常、管轄区域が所有する恒久的な施設である緊急オペレーションセンター (EOC) とは異なり、JFOは、事案の地理的ニーズに合わせて特別に調整された「ポップアップ」施設 (多くの場合、賃貸倉庫またはオフィスビル内) です。

現地での対応を「指揮」するのは事件指揮所 (ICP) ですが、その地域に注ぎ込まれる膨大な連邦政府の資源を「調整」するのはICPです。

CEDPの文脈において、JFOを理解することはリソース管理にとって極めて重要です。JFOは、緊急支援機能 (ESF) が現場レベルで発動される場所です。例えば、あるコミュニティが大量の水 (ESF #7) を必要とする場合、要請は地方EOCから州EOCへと送られ、その後JFOへと送られ、連邦のロジスティクス専門家が注文に対応します。オプションAは部分的には正しい説明ですが、オプションBほど完全ではありません。JFOは単なる「場所」ではなく、連邦の復旧・対応支援のための積極的な管理エンジンだからです。JFOは、緊急対応が長期的な復旧へと移行するまで運用され続け、その時点でその機能は多くの場合、地域事務所へと戻されます。

最新問題: 30

潜在的な緩和の危険性の特定を妨げる可能性のあるツールは何ですか？

- A. ハザードGIS分析
- B. ハザードマップ
- C. 危険チェックリスト

Answer: C (メッセージを残す)

災害対策とリスク評価の分野では、ハザードチェックリスト (オプションC) は、しばしば「トンネルビジョン」や

「チェックボックスをチェックする」という考え方。3チェックリストは標準的なタスクを確実に完了させるのに非常に効果的ですが、チェックリスト作成者が想定した内容によって本質的に制限されます。新たな危険、現場特有の危険、あるいは非伝統的な危険はリストに記載されていない可能性があり、評価者はそれを完全に無視してしまう可能性があります。

GIS (地理情報システム) 分析 (オプションA) やハザードマップ (オプションB) といった高度なツールは動的で、4これらのツールにより、緊急時管理者は様々な脅威と重要インフラの空間的な関係を視覚化できます。5例えば、GISレイヤーは、洪水地帯と老朽化した変電所の重なり合う場所を正確に表示できます。これらのツールは、探索者が「全体像」を把握し、単純なリストでは決して捉えられない連鎖的な障害を特定することを促します。

FEMAのCPG 201 (脅威と危険の特定およびリスク評価) によれば、危険の特定プロセスは「あらゆる危険」を網羅する調査であるべきです。チェックリストは静的で過去の状況に基づく傾向があり、気候変動、都市のスプロール現象、技術の進化などによって将来何が起こ

り得るかよりも、過去に何が起こったかに焦点を当てています。CEDP専門家にとって、チェックリストへの過度の依存は、誤った安心感につながる可能性があります。もし危険（上流に建設された新しい化学プラントなど）が事前に印刷されたチェックリストに記載されていない場合、緩和計画の段階で見落とされる可能性があります。したがって、チェックリストは保守や定期安全検査において重要な役割を果たしますが、既存のシステムと比較すると、制限的な「閉鎖システム」と見なされています。

専門的なハザードマップ作成と空間分析の「オープンシステム」。

最新問題: 31

FEMA コア機能で特定されている保護の目標を説明する代替手段は何ですか？

- A. テロの脅威または実際のテロ行為を回避または阻止する
- B. 脅威を阻止することで人命と財産の損失を軽減する
- C. テロや自然災害から祖国を守る

Answer: C (メッセージを残す)

国家準備目標および国家保護枠組みによれば、保護」ミッション領域の目標は、テロや自然災害から国土を守ることです。5このミッション領域は、テロ行為や人為的災害、自然災害から国土を守るために必要な能力に重点を置いています。これは、緊急事態管理におけるコミュニティ全体のアプローチを構成する5つのミッション領域（予防保護、軽減、対応、復旧）の1つです。

「予防」と「保護」の区別は、CEDP カリキュラムにおけるテストの共通ポイントです。

「予防 オプションA」は、テロの脅威または実際の行為を回避、防止、または阻止するために必要な能力に特化しています。6一方、防護はより広範で、より防御的なものです。これには、サイバーセキュリティ、インフラ保護、国境警備といった「定常状態」の活動が含まれます。予防が敵対者に焦点を当てているのに対し、防護はコミュニティをあらゆる危険から守る資産とシステムに焦点を当てています。

オプションBは、緩和と対応を組み合わせたものです。保護目標の正式な定義では、「確保」と「警備」が重視されています。保護ミッション領域における主要な中核機能には、物理的保護手段、サイバーセキュリティ、アクセス制御／ID検証が含まれます。7保護目標を達成することで、緊急管理者は重要なインフラ（電力網や水道システムなど）の脆弱性を低減し、地域社会全体のレジリエンス（回復力を高めます。これにより、脅威が顕在化した場合でも、地域社会のシステムの「強化」された性質により、軽微なインシデントが国家規模の災害へと連鎖するのを防ぐことができます。

有効な **CEDP** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CEDP 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **CEDP** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CEDP 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CEDP 問題

集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/IBFCSM/CEDP-mondaishu.html>
(14830%OFF問題集溶と正解付きで 30%w特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 32

ICS のどの側面を、リアクティブからプロアクティブの姿勢に迅速に移行する必要がありますか？

- A. 安全とセキュリティ
- B. コマンド要素
- C. 物流管理

Answer: B (メッセージを残す)

インシデント・コマンド・システム (ICS)において、指揮部 (インシデント・コマンダーと関連スタッフ)は、事後対応型から事前対応型への迅速な移行を主導する重要な役割を担います。あらゆる災害は「事後対応フェーズ」から始まります。このフェーズでは、初期対応者は緊急事態が発生した際に対応します。これはしばしば「インシデントの追跡」と呼ばれます。この段階では、通常、人命に関わる差し迫った脅威に対処するために、リソースが臨機応変に展開されます。しかし、インシデントを安定させ、長期的に管理していくためには、指揮部は目標管理を確立し、運用計画サイクル (計画P)を活用して「事前対応フェーズ」に移行する必要があります。

指揮における積極性とは、現在の「混乱」の先を見据え、次の作戦期間のニーズを予測することを意味します。この移行は、インシデント行動計画 (IAP)の策定を通じて正式に達成されます。NIMS (国家インシデント管理システム)の原則によれば、インシデント指揮官 (IC)が計画プロセス (具体的な測定可能な目標の設定と、それらを達成するために必要なリソースの特定)を開始すると、インシデント対応組織は事後対応型の状態から、統制された事前対応型の状態へと移行します。この移行は非常に重要です。なぜなら、災害そのものに左右されるのではなく、指揮系統が対応の条件を決定できるようになるからです。

認定緊急災害対策専門家 (CEDP)であるICの主な責任は、「事態の先手を打つ」ことです。これには、計画セクションを通じて情報収集を優先し、正確な共通運用状況 (COP)を維持することが含まれます。指揮部は、積極的な姿勢に移行することで、対応が組織的、拡張可能、かつ安全であることを保証します。リーダーシップ主導のこの転換がなければ、インシデントは「火消し」という事後対応のサイクルに陥り、リソースの枯渇、作業の重複、そして対応者と一般市民の両方に対するリスクの増大につながるがよくあります。したがって、指揮部はICSの「エンジン」として機能し、組織を防御的かつ事後対応的な姿勢から戦略的かつ事後対応的な姿勢へと意識的に推進する必要があります。

最新問題: 33

EOP (緊急時対応計画) 開発プロセス中に最も優先度の低い考慮事項を説明するものは何ですか。

- A. リスクを特定し、発生する可能性のあるすべてのイベントに優先順位を付ける
- B. 計画が組織のニーズを満たす形式に準拠していることを確認する

C. 既知の緩和ニーズごとに優先順位を決定し割り当てる

Answer: B ([メッセージを残す](#))

緊急時対応計画 (EOP) 策定の方法論、特にFEMAの包括的準備ガイド (CPG) 101のガイダンスに従う場合、計画の形式は、機能やプロセス自体に比べて優先順位が低いとされています。現代の緊急時対応計画の基本原則は、「計画プロセスは文書よりも重要である」というものです。専門的で整理された形式は読みやすさの向上に役立ちますが、他の選択肢で説明されている分析と共同作業に比べると、それは二次的なものです。

オプションA (リスクの特定)とオプションC (緩和策の優先順位付け)は、計画サイクルにおける「ステップ2」と「ステップ3」の優先度の高い活動です。脅威とハザードの特定とリスク評価 (HIRA)によるリスクの特定は、計画全体の範囲を決定する重要な最初のステップです。具体的なリスクを特定しなければ、計画は効果を発揮しません。同様に、緩和ニーズに優先順位を付ける (オプションC)ことで、最も重要な脆弱性にリソースが割り当てられることが保証され、これは計画プロセスの中核的な目標となります。

計画が特定の組織フォーマット (オプションB)に準拠していることを確認することは、管理上の懸念事項です。計画のフォーマットが完璧であっても、コミュニティにおける実際のリソースギャップや管轄区域の重複に対応できていない場合、実際の災害時には機能しません。CEDPカリキュラムでは、計画は柔軟性と適応性を備えていなければならないことを強調しています。特定のフォーマットに固執すると、異なるテンプレートを使用する近隣の管轄区域や連邦機関との計画の統合が妨げられる場合もあります。したがって、一貫性を保つために標準フォーマット (従来の機能的EOPやESFフォーマットなど)の使用が推奨されますが、文書の生命安全と運用上の実質性と比較すると、優先順位は最も低くなります。

最新問題: 34

国家の化学物質の安全性と耐性を維持するための政府の取り組みを表す用語は何ですか？

A. 規制

B. 調整

C. コラボレーション

Answer: ([解答を表示する](#))

化学施設対テロ基準 (CFATS)およびEPAのリスク管理プログラム (RMP)の文脈において、政府が国家の化学物質セキュリティを確保するために用いる主要なメカニズムは規制です。円滑な対応には調整 (オプションB)と連携 (オプションC)が不可欠ですが、高リスク化学施設のセキュリティは、特定のセキュリティパフォーマンス基準を義務付ける厳格に規制された法的枠組みを通じて実施されます。

国土安全保障省 (DHS)は、CFATSプログラムを用いて高リスク化学施設を特定し、規制しています。9「特定量以上の 関心対象化学物質」(COI)を保有する施設は、トップスクリーン評価を完了する必要があります。リスクレベルに基づいて「ティア」(1~4)が割り当てられ、18「リスクベースパフォーマンス基準」(RBPS)を満たすサイトセキュリティプラン

\$SP)または代替セキュリティプログラム ASP)を策定する必要があります。これらの基準には、物理的セキュリティ、身元調査、サイバーセキュリティが含まれます。CEDPカリキュラムによれば、規制こそが民間セクターにおける国家安全保障の「歯止め」となるものです。自主的なプログラムとは異なり、規制遵守は義務付けられており、政府の検査と罰金の対象となります。これにより、国全体で一貫したセキュリティの「基準」が確保され、化学物質サプライチェーンにおけるテロリストに悪用される可能性のある「弱点」が防止されます。規制（6 CFR Part 27など）を用いることで、政府は施設所有者に対し、地域社会を壊滅的な化学物質漏洩から守るために必要な物理的および手続き上の障壁への投資を義務付け、安全保障と国家のレジリエンスの両方を維持しています。

最新問題: 35

対応および復旧活動に関する情報を提供する EOP 要素は何ですか？

- A. 危険有害性に関する附属書
- B. 状況の想定
- C. コミュニケーション文書

Answer: A (メッセージを残す)

標準的な緊急対応計画（EOP）では、ハザード別付録において、特定の種類の脅威に合わせた対応・復旧活動に関する詳細かつ実用的な情報が提供されます。基本計画はあらゆるハザードに対する一般的な枠組みを提供する一方、付録はハリケーン、危険物質流出、生物兵器のアウトブレイクなど、特定の災害に特有の運用要件に焦点を当てています。

状況想定（オプションB）は基本計画に記載されており、計画担当者が想定する「もし〜だったら」のシナリオを記述します。コミュニケーション文書（オプションC）は、災害発生時に実際に使用されたフォームやログを参照しますが、付録に記載されているような戦略的または戦術的な情報は含まれていません。特定のハザードに関する付録では、そのハザード特有の行動のきっかけ、必要な専門的リソース、そして具体的な復旧マイルストーンを記述します。例えば、「竜巻付録」では即時の捜索救助プロトコルを規定し、「パンデミック付録」ではワクチン接種クリニックや検疫手順に焦点を当てます。

FEMAのCPG 101によると、附属書を用いることでEOP（緊急対応計画を整理し、拡張性を維持することができます。これにより、基本計画が特定の種類のインシデントにのみ適用される技術的な詳細で煩雑になることを回避できます。CEDP（緊急対応計画の専門家にとって、これらの附属書は組織の「プレイブック」です。特定の脅威が認識された際に、インシデント対策本部が、専門家と精査・調整済みの対応・復旧手順をすぐに利用できるようにすることが保証されます。

最新問題: 36

単一の監督者の下で人員を割り当てる場合の概念は何ですか？

- A. 指揮の統一
- B. 制御範囲
- C. 制御

Answer: (解答を表示する)

すべての個人が単一の監督者に割り当てられることを義務付ける概念は、指揮統制 (Unity of Command) として知られています。これは、インシデント・コマンド・システム (ICS) と国家インシデント管理システム (NIMS) の基本原則です。指揮統制の目的は、矛盾した指示による混乱を排除し、明確で垂直的な指揮系統を確保することです。

指揮統制の原則に基づき、出動隊員は複数の上司から指示を受けるべきではありません。消防士が「A課」に配属されている場合、その上司は「A課監督者」のみです。たとえ他の地区の上級署長が通りかかって指示を出したとしても、出動隊員は配属された唯一の監督者に報告しなければなりません。これにより、ストレスの高い災害活動において、負傷や死亡につながる人が多い「フリーランス」を防ぐことができます。

これはしばしば「スパン・オブ・コントロール (オプションB)」と混同されます。スパン・オブ・コントロールとは、上司が効果的に管理できる部下の人数（通常は1:5の比率）を指します。スパン・オブ・コントロールが「何人」かを扱うのに対し、ユニティ・オブ・コマンド（統一性）は「誰が誰に報告するか」を扱います。「コントロール (オプションC)」は一般的な管理機能であり、NIMS特有の報告関係を表す専門用語ではありません。

CEDP専門家にとって、指揮統制の徹底は説明責任を果たす上で不可欠です。数百もの機関が集結する大規模災害において、指揮統制の欠如は組織崩壊の最も一般的な原因です。すべての担当者に必ず1人の監督者が付くようにすることで、インシデント・コマンドは、単一の統合された報告体制を通じて、「火災現場」または災害現場にいるすべての人の位置と安否を追跡することができます。

最新問題: 37

災害専門家は、被災者のための非伝統的な住宅としてどのような場所を検討するでしょうか？

- A. 学校および公共施設
- B. テントとプレハブ建築物
- C. 利用可能な船と列車

Answer: C (メッセージを残す)

集団ケアとシェルター（緊急支援機能）の文脈において、住宅はその用途と展開速度に基づいて分類されます。船舶や列車は、長期滞在を想定して設計されておらず、安全なシェルターとして機能するには高度な物流調整が必要となるため、非従来型の住宅とみなされます。これらの住宅は収容能力が高い一方で、衛生面、医療アクセス、そして被災者の心理的な「閉じ込め」という点で大きな課題を抱えています。

対照的に、学校や公共施設 (オプションA) は「伝統的」または「集合型」の避難所とみなされ、ほとんどの地域の緊急対応計画 (EOP) の主要な焦点となっています。テントやプレハブ住宅 (オプションB) は「暫定的」または「一時的な」住宅とみなされます。船舶 (クルーズ船など) の利用は、ハリケーン・カトリーナへの対応や大規模復旧活動における作業員の宿泊な

ど、まれな状況で行われてきましたが、決して「好ましい」、あるいは従来の避難方法ではありません。

IBFCSM CEDPガイドラインによれば、非伝統的な住宅オプションは、

「伝統的」および「移行的」な選択肢は完全に使い果たされているか、あるいは陸上での避難には環境が有害すぎる。船舶や列車を利用するには、専門的な安全検査（沿岸警備隊または連邦規制局（FRA）の規制）、専用の廃棄物管理システム、そして二次災害発生時の移動式住宅ユニット自体の「完全避難」計画が必要となる。災害専門家は、これらの非従来のな解決策にかかる高額な費用とロジスティクスの複雑さを、避難民のための気候制御された安全な環境の緊急の必要性と比較検討する必要がある。

最新問題: 38

緊急時対応計画に関する最も正確な記述はどれですか？

- A. 対応は主にハザード脆弱性分析で特定されたイベントに限定されます
- B. 緊急時対応計画は、危険ではなく機能を中心に構成されるべきである
- C. 復旧措置を詳細に規定する緊急時対応計画を策定する

Answer: B (メッセージを残す)

現代の緊急時対応計画に関する最も正確な見解は、ハザードではなく機能を中心に構築されるべきであるということです。これは、FEMAがCPG 101（包括的準備ガイド）で提唱する「オールハザード・アプローチ」の中核原則です。機能的なEOPは、あらゆるハザード（例えば、「洪水対策計画」や「洪水対策計画」など）ごとに個別の重複した計画を作成するのではなく、コミュニティがあらゆるインシデントに対応するために必要な能力（例えば、通信、避難、集団ケア、広報）に焦点を当てています。

「火災対応計画」、竜巻対応計画」など。

機能別組織がより効率的である理由はいくつかあります。

* シンプルさ: ほぼすべての災害で必要となる共通の活動（犠牲者の搜索など）の重複を回避します。

* 柔軟性: 対応の「構成要素」がすでに整っているため、機能的な計画は、新しい脅威や予期しない脅威（パンデミックや新しいタイプのサイバー攻撃など）に適応できます。

* トレーニング: 災害の原因に関係なく、対応者は自分の機能（例: 輸送）に関する一連の手順を1つだけ学習する必要があります。

EOPはハザード脆弱性分析（HVA）に基づきますが、対応はこれらの事象（オプションA）に限定されるわけではありません。優れた計画は未知の事象にも適応可能でなければなりません。同様に、EOPには復旧要素が含まれますが、その主な焦点は対応段階です。詳細な復旧計画は、多くの場合、別途「長期復旧計画」（オプションC）で扱われます。CEDP専門家にとって、機能的なEOPは緊急事態管理における「スイスアーミーナイフ」です。「機能別付属書」を充実させることで、管轄区域はあらゆる課題に対処するために即座に展開できる堅牢で拡張性の高い能力を確保し、「オールハザード」レジリエンスの使命を果たします。

最新問題: 39

緊急サージ管理システムの「Tier レベル 6」とはどのようなアクションですか？

- A. 州間調整行動
- B. 州の対応アクション
- C. 連邦政府の対応措置

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

医療サージキャパシティおよび能力 (MSCC) 管理システムは、公衆衛生と医療対応の調整を記述するために6層構造のフレームワークを用いています。この階層構造において、第6層は州、部族、および管轄区域の管理に対する連邦政府の支援を表します。これはサージシステムの最高レベルであり、地方、地域、および州レベルの資源が枯渇し、連邦政府による災害または公衆衛生上の緊急事態が宣言された際に発動されます。

MSCCティアは次のように構成されています。

- * ティア1:個人医療機関 (HCO)
- * ティア2:ヘルスケア連合 (HCC)
- * Tier 3:管轄（地方自治体）
- * Tier 4:州（州政府）
- * Tier 5: 州間（州間調整、例: EMAC 経由）
- * Tier 6:連邦（連邦公衆衛生および医療資産）

Tier 6では、連邦政府が国家対応枠組み (NRF)、特に緊急支援機能8 (ESF #8 - 公衆衛生医療サービス)を通じて資産を提供します。これには、国家災害医療システム (NDMS)、戦略国家備蓄 (SNS)、USNSコンフォート/マーシー病院船などの資源が含まれます。Tier 6の役割は、州および地方自治体の取り組みを「代替するのではなく、支援すること」です。

CEDP専門家にとって、Tier 6のトリガーを理解することは、リソース管理において不可欠です。Tier 6の支援は通常、被災した州の知事によって要請され、合同現地事務所 (JFO)を通じて調整されます。対応がTier 6に達すると、国家医療インフラの総力を必要とする壊滅的な事態となります。これらの連邦チームを統合するためのプロトコル（例えば、提供など）を理解することは重要です。

DMAT チームの「資格認定」と「オンボーディング」は、連邦政府の支援が現場での即時の人命救助能力につながることを保証するための重要な能力です。

最新問題: 40

サイバーセキュリティの取り組みの基本的な構成要素として機能しない要素は何でしょうか？

- A. 自動化
- B. 相互運用性
- C. 暗号化

Answer: [B \(メッセージを残す\)](#)

サイバーセキュリティの分野では、相互運用性は一般的にセキュリティそのものの「構成要素」とは考えられていません。実際、多くの重要インフラにおいては、相互運用性が適切に

管理されない場合、脆弱性を増大させる可能性があります。相互運用性は緊急通信（異なる無線機器間の通信を可能にすること）の基本的な目標ですが、サイバーセキュリティにおいては、セグメンテーションとアクセス制御に重点が置かれています。

NIST サイバーセキュリティ フレームワークで概説されている強力なサイバーセキュリティ戦略の実際の構成要素は次のとおりです。

- * 暗号化 (オプション C): 保存中および転送中のデータを保護して、権限のない第三者によるデータの読み取りを防止します。
- * 自動化 (オプション A): 脅威の検出、パッチ管理、インシデント対応に自動化ツールを使用して、最新のサイバー攻撃の速度に対応します。
- * 認証: ユーザーとデバイスの ID を確認します。

相互運用性 (オプション B) とは、異なるシステム間で情報を交換し、活用する能力を指します。業務効率や災害対策には重要ですが、ハッカーにとって ラテラルムーブメント（横方向の移動）」の機会となることも少なくありません。公共事業の水道システムが市の一般 Wi-Fi ネットワークと高い相互運用性を持っている場合、Wi-Fi への侵入が水道管制への侵入につながる可能性があります。

CEDP 受験者にとって、「情報管理」の目標と「セキュリティ」の目標を区別することは非常に重要です。災害発生時にシステムが相互に通信できるようにする（相互運用性）とは重要ですが、その接続は暗号化によって保護し、自動化によって監視する必要があります。したがって、相互運用性はサイバーセキュリティが保護しなければならない運用上の要件であり、セキュリティを実現するためのツールではありません。

最新問題: 41

ICS (インシデント コマンド システム) 構造の主な特徴を説明する用語は何ですか？

- A. モジュール
- B. シンプルさ
- C. 体系的

Answer: A (メッセージを残す)

インシデント・コマンド・システム (ICS) の組織的特徴は、モジュール型であることです。これは、インシデントの規模と複雑さに基づいて、組織構造がトップダウン型かつ機能的に構築されることを意味します。ICS 環境では、特定のインシデントの管理に必要な役職とセクションのみが活動します。インシデントの複雑さが増すにつれて、組織構造は拡張（モジュールの追加）され、インシデントが安定するにつれて、組織構造は縮小（モジュールの無効化）され、管理可能な管理範囲が確保されます。

NIMS（国家インシデントマネジメントシステム）の原則によれば、モジュール型組織は、施設、設備、人員、通信を共通の組織構造内に統合することを可能にします。この柔軟性により、小規模な地域交通事故と複数州にまたがる大規模なハリケーン対応の両方に、同じ管理システムを適用することが可能になります。例えば、小規模なインシデントであれば、インシデント・コマンド（IC）のみで対応できるかもしれません。しかし、状況の進展に伴

い、ICは必要に応じて運用セクション、次に計画セクション、そして各セクション内の特定の支部または課を発足させる場合があります。

「シンプルさ」(オプションB)と「体系的であること」(オプションC)はICSを使用する一般的なメリットですが、構造アーキテクチャを説明する専門用語ではありません。ICSの「モジュール化」という性質により、対応が「過剰管理」または「不足管理」されることがなくなります。必要なリソースを必要な時にのみ投入することで、リソースを効率的に活用できます。CEDP試験では、モジュール化を理解することが非常に重要です。これは、インシデントのスケラビリティと、インシデント指揮官が個々の管理能力を超えるワークロードのみを委任するという責任に直接関係するからです。

最新問題: 42

国家災害医療システム (NDMS) の主な目的は何ですか？

- A. 大規模災害時に迅速な移動医療システムとして機能する
- B. 緊急時の医療対応の取り組みと能力を補完する1
- C. 被災地から治療病院への患者の搬送を支援します2

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

国家災害医療システム (NDMS) は、保健福祉省 (HHS) 内の準備・対応担当次官 (ASPR) が管理する連邦政府が調整するシステムです。3NDMSの主な目的は、災害、パンデミック、テロ行為によって州、地方、部族、および地域の医療対応活動が圧倒された場合に、それらを補完することです。4NDMSは、地域の医療に代わるものではなく、被災地に急派して専門的な医療と機器を提供できる「サージキャパシティ」部隊として機能することを目的としています。5NDMSは、3つの主要コンポーネントで構成されています。

* 医療対応: これには、災害医療支援チーム (DMAT)、災害遺体安置所運用対応チーム (DMORT)、国家獣医対応チーム (NVRT) などの断続的に派遣される連邦職員のチームが含まれます。6

* 患者の移動: 多くの場合国防総省 (DoD) の航空機を利用して、災害地域から最終的な治療を受けられる地域への患者の避難を調整します。7

* 決定的ケア: 全国、800以上の非連邦パートナー病院からなるネットワークで、国家緊急事態の際に被害者を受け入れ、治療することに同意しています。8 CEDP専門家にとって、NDMSは医療分野における究極の「セーフティネット」です。大地震や生物兵器攻撃などの大規模な死傷者発生時には、地域の病院はすぐに「飽和状態」に達します。NDMSの発動により、連邦政府の臨床医が派遣され、「野戦病院」を設置したり、補助的な治療施設に人員を配置して「病院内減圧」を提供したりすることができます。9 オプションCは「患者移動」機能について説明していますが、これはより広範なミッションの一部に過ぎません。NDMSの根本的な価値は、地域のインシデント指揮系統にシームレスに統合され、人命を救い、地域医療インフラの完全な崩壊を防ぐ、拡張性の高い「補助的」部隊を提供できることにあります。

最新問題: 43

国土安全保障省 (DHS) の使命を最もよく表す代替表現は何ですか？

- A. 多くの組織間でビジョンを共有する単一の企業
- B. 分散的に運営される多面的な事業
- C. 大規模な機関がセキュリティ情報を収集、評価、共有する

Answer: A (メッセージを残す)

国土安全保障省 (DHS) は、多くの組織が共通のビジョンを持つ、焦点を絞った単一の事業体として最もよく説明されます。19/11同時多発テロ後の設立以来、DHSの使命は、それまで断片化されていた国内安全保障活動を単一の「国土安全保障事業体」に統合することです。2 この事業体には、連邦政府機関 (FEMA、TSA、CBP、沿岸警備隊など) だけでなく、州、地方、部族、地域のパートナー、そして民間部門とアメリカ国民も含まれます。3 共通の「ビジョン」は、5つの中核ミッションを特定した4年ごとの国土安全保障見直し (QHSR) で定義されています。

- * テロの防止と治安の強化。
- * 国境の安全確保と管理。
- * 移民法の執行と管理。
- * サイバースペースの保護とセキュリティの確保。
- * 災害に対する回復力の確保。

選択肢Bは誤りです。DHSは多面的な組織ですが、その目標は「分散型」のサイロから統合された「Unity of Effort (努力の統一)」へと移行することです。選択肢Cは機能 (情報共有について説明していますが、Enterprise (企業) の使命を捉えていません。CEDP専門家にとって、DHSを企業として理解することは、助成金の調達とリソースの調整において非常に重要です。これは、地方警察のテロ対策が、沿岸警備隊の港湾警備やCISAのサイバーセキュリティ対策と同じ「ビジョン」の一部であることを意味します。この単一企業アプローチにより、国の多様なセキュリティ部門が同じ戦略目標に向けて取り組むことが保証され、国土防衛における重複やギャップが削減されます。

最新問題: 44

ハザード脆弱性分析の主な特徴を説明するフレーズは何ですか？

- A. 包括的な性質
- B. 現実的な範囲
- C. コンテンツ内のすべての危険

Answer: A (メッセージを残す)

ハザード脆弱性分析 (HVA) は、基本的に包括的であることで定義されます。

「現実的な」オプションB) と「あらゆる危険」オプションC) は計画プロセスの重要な特性ですが、HVAは組織またはコミュニティにとって包括的な診断ツールとして機能します。効果を発揮するには、自然災害、技術災害、人為的災害など、あらゆる可能性のある脅威を体系的に評価し、生命、財産、そして事業継続への潜在的な影響を評価する必要があります。

HVAの包括的な性質には、多分野にわたるアプローチが必要です。洪水の可能性だけでなく、病院内の特定の患者集団の脆弱性、電力網の脆弱性、そしてサイバー攻撃が同時に発生する可能性も考慮します。合同委員会の基準とIBFC SM CEDPカリキュラムによると、HVAは毎年見直しを行い、新しいデータを組み込む必要があります。これにより、脅威の状況（パンデミックリスクや市民の暴動など）が変化しても、HVAが「包括的」であり続けることが保証されます。

包括的であることで、HVAは緩和と備えへの投資の優先順位付けにおける主要な推進力となります。HVAは、多くの場合、発生確率、人的影響、財産への影響、事業への影響、そして備えの度合いを測定するスコアリングシステムを用いて、「リスク優先度番号」を作成します。分析が包括的でない場合、組織はハリケーンへの備えはできていても、局所的な有害物質の流出や重大なIT障害に対しては完全に脆弱になってしまう可能性があります。したがって、「包括的」という特性により、計画段階でコミュニティの防御における重大な欠陥が見落とされることがなくなります。

最新問題: 45

災害が長期化した場合、法執行機関はどのような業務を停止するでしょうか？

- A. 災害現場の警備
- B. 大規模な搜索救助
- C. インフラストラクチャセキュリティ

Answer: ([解答を表示する](#))

災害の初期段階では、法執行官が現場に真っ先に駆けつけ、大規模搜索救助を含む人命救助に必要なあらゆる任務を遂行することがよくあります。3しかし、災害が長期化すると、法執行機関は通常、これらの専門的な救助活動を中止し、FEMA都市搜索救助 (US&R) タスクフォースや州兵部隊などの専用の搜索救助 (SAR) 部隊に移行します。これにより、警察は本来の中核となる任務、すなわち公共の秩序、安全、交通規制の維持に再び取り組むことができます。

災害時における警察の標準的な標準業務手順 (SOP) によると、その主な役割は「災害現場の警備」(オプションA)と「インフラの警備」(オプションB)の提供です。これには、避難場所での略奪の防止、浄水場や変電所などの重要資産の保護、そして危険区域への不審者の立ち入りを防ぐための「境界管理」が含まれます。これらの警備機能は、災害対応全体の成功に不可欠ですが、法執行機関の職員が技術的な搜索救助活動に追われていると、その機能が損なわれることがよくあります。

CEDPの知識体系では、この移行は「リソース管理」の一部です。法執行機関の職員は、倒壊した建物の補強や高角度ロープ救助といった、大規模救助における高リスクの技術的側面について、一般的に装備や訓練を受けていません。長期にわたる事態において、大規模搜索救助 (SAR) を専門機関に委託することで、インシデント指揮官は最も有能な人員が最も危険な任務を遂行できるようにし、警察は安全な復旧環境に必要な「治安の安定」に注力することができます。

最新問題: 46

FEMA と密接な正式な業務関係を維持している公共部門の対応者は誰ですか？

- A. 法執行機関
- B. 消防士
- C. 公衆衛生

Answer: B ([メッセージを残す](#))

FEMAはすべての公共部門の対応者と連携しながら、消防士と最も緊密かつ正式な運用関係を維持しています。この独自の関係は、FEMAの中核部門である米国消防庁 (USFA) を通じて制度化されています。USFAの使命は、国の消防および救急医療サービス (EMS) に対する全国的なリーダーシップ、調整、および支援を提供することです。

さらに、国立消防アカデミー (NFA) はメリーランド州エミッツバーグにある FEMA の緊急事態管理研究所 (EMI) と同じキャンパスに位置しており、共通の教育および教義環境が生まれています。

国家対応枠組み (NRF) の下では、この関係は緊急支援機能4 (消防によってさらに強化されています)。FEMAは、地方、州、部族の消防署と直接連携し、建物火災および山火事に対する連邦消防支援を調整しています。USFAはまた、FEMAが火災の傾向を分析し、消防士支援助成金 (AFG) などの連邦補助金を配分するために使用する主要データベースである国家火災事案報告システム (NFIRS) も管理しています。

認定緊急災害専門家 (CEDP) にとって、この階層構造を理解することは、リソース獲得において非常に重要です。消防士は、FEMAの都市搜索救助 (US&R) タスクフォースの主力となることがよくあります。法執行機関 (オプションA) は司法省/FBIに、公衆衛生機関 (オプションC) は保健福祉省/CDCに関連しますが、消防局はFEMAの構造に「組み込まれて」います。この正式な連携により、米国で年間3,000万件以上の通報に対応する消防署は、FEMAの訓練、データ、そして財源によって直接的に支援され、地域災害の安定化における主要な戦術的部隊となることが保証されます。

有効な **CEDP** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CEDP 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **CEDP** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CEDP 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CEDP 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/IBFCSM/CEDP-mondaishu.html> (**14830%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 47

危険物を安全に保管するための正しいプロトコルを説明するアプローチは何ですか？

- A. 安全データシートを参照して適合性を確認した後、保管してください。
- B. NFPA規格で定義された危険物カテゴリーごとに材料を保管する
- C. 管轄の地方自治体の要件に従って保管してください

Answer: A ([メッセージを残す](#))

危険物質を安全に保管するための基本かつ最も重要なプロトコルは、安全データシート (SDS) を参照して決定される適合性に基づいて化学物質を保管することです。

酸化剤を可燃物の隣に、酸をシアン化物の隣に保管するなど、互換性のない化学物質と一緒に保管すると、漏洩や流出が発生した場合に壊滅的な火災、爆発、または有毒ガスの放出を引き起こす可能性があります。OSHA 29 CFR

1910.1200(危険有害性情報の伝達)では、すべての化学物質について SDS を用意することが義務付けられており、SDS のセクション 7 では、安全な保管要件と不適合な物質について具体的に詳しく説明されています。

危険有害性カテゴリー オプションB)と地域規定 オプションC)は、役立つ高レベルの枠組みを提供しますが、それだけでは不十分です。例えば、2つの化学物質はどちらも「腐食性」ですが、混合すると激しく反応する可能性があります(例: 強酸強塩基)。専門家による分別計画では、SDSの具体的なデータを活用して、反応性の高いグループ間に物理的な距離や二次的な封じ込めバリアを構築します。

国際消防法 (IFC) と NFPA 400 (危険物法) はどちらも、施設の安全性の技術的基礎としてこの「互換性第一」のアプローチをサポートしています。

CEDP知識体系において、安全な保管は主要なリスク軽減タスクです。災害時には、建物が移動したり、棚が倒壊したり、容器が破損したりする可能性があります。施設が適合性プロトコルを無視した場合、単純な地震や洪水でさえ大規模な化学緊急事態 (Natech) イベントを引き起こす可能性があります。SDSに基づく適合性プロトコルに従うことで、緊急事態管理者は、一次容器が破損した場合でも、結果として生じる物質の混合が制御不能な二次災害につながることを防止できます。この体系的な「隔離」アプローチは、産業、研究室、そして緊急対応準備環境におけるリスク低減のゴールドスタンダードです。

最新問題: 48

対応活動中に主要セクターの通信復旧を支援する機能は何ですか?

- A. 通信サービス優先度
- B. 政府緊急通信
- C. 広域デジタルネットワーク

Answer: A ([メッセージを残す](#))

主要セクターの通信サービスの復旧を特に支援する機能は、電気通信サービス優先 (TSP) プログラムです。サイバーセキュリティ・インフラセキュリティ庁 (CISA) が管理し、連邦通信委員会 (FCC) が規制するTSPIは、電気通信サービスプロバイダーに対し、登録組織の重要なデータ回線および音声回線の修理と設置を優先的に行うことを義務付ける連邦プログラムです。このインフラに対する「保険」は、災害発生時に病院、911番通報センター、消防署などの重要な機関が、一般市民や登録されていない商業機関よりも先に回線を復旧することを保証します。

政府緊急通信サービス (GETS) オプションB)は関連性の高い重要なツールですが、その目的は異なります。ネットワークが混雑している際に、音声通話のために公衆交換電話網 (PSTN) への優先アクセスを提供します。GETSは通話が確実に行われるようにしますが、

切断された物理回線や故障した回線を復旧することはできません。これはTSPの役割です。広域デジタル網 (WADN) オプションC)は、一般的に広域接続に使用される技術アーキテクチャまたは機器カテゴリを指しますが、優先復旧プログラムを構成するものではありません。

国家対応フレームワーク (NRF) の緊急支援機能 #2 (ESF #2 - 通信) 付録では、TSP プログラムがインフラストラクチャの復元力を高めるための主要なメカニズムとして強調されています。

TSPに登録されている組織には、国家安全保障と緊急事態への備えにおける役割に基づいて、優先度レベル (1~5)が割り当てられます。ハリケーンやサイバー攻撃など、地域インフラに甚大な被害をもたらす壊滅的な事象が発生した場合、通信事業者は、たとえ他の商用サービスレベル契約 (SLA)に違反する場合でも、TSPでコード化された回線を最初に復旧する法的義務を負います。認定緊急災害対策専門家 (CEDP)にとって、TSPを理解することは、復旧フェーズにおいて地域社会の「中枢」が可能な限り迅速に業務を再開できるようにするために不可欠です。

最新問題: 49

対応および復旧活動に関する情報を提供する EOP (緊急時対応計画) のどの要素ですか？

A. 危険有害性に関する附属書

B. 状況の想定

C. コミュニケーション文書

Answer: A (メッセージを残す)

標準的な緊急対応計画 (EOP)では、ハザード別付録 (インシデント別付録とも呼ばれる)において、特定の種類の脅威に合わせた対応・復旧活動に関する詳細かつ実用的な情報が提供されます。基本計画はあらゆるハザードに対する一般的な枠組みを提供しますが、付録はハリケーン、有害物質流出、生物兵器のアウトブレイクなど、特定の災害に特有の運用要件に焦点を当てています。

状況想定 (オプションB)は基本計画に記載されており、計画担当者が事実であると考えられる「もし〜だったら」のシナリオを記述します (例:「従業員の20%が不在になる」)。コミュニケーション文書 (オプションC)は、実際に発生した事象中に使用されたフォームやログを参照しますが、付録に記載されている戦略的または戦術的な情報は含まれていません。ハザード固有の付録では、そのハザード固有の行動のトリガー、必要な専門的リソース、および具体的な復旧マイルストーンを記述します。例えば、

「竜巻別冊」は即時の搜索救助手順を規定する一方、「パンデミック別冊」はワクチン接種クリニックと検疫手順に重点を置くことになる。

FEMAのCPG 101によると、付録を用いることでEOP (緊急対応計画を整理し、拡張性を維持することができます。これにより、基本計画が特定の種類のインシデントにのみ適用される技術的な詳細で煩雑になることを防ぎます。CEDPの専門家にとって、これらの付録は組織の「プレイブック」です。特定の脅威が認識された際に、インシデント対策本部は、専

門家と精査 調整済みの対応 復旧手順をすぐに利用できるため、災害発生時の「ロールバック」における意思決定にかかる時間を短縮できます。

最新問題: 50

組織がサイバー攻撃を受けた後の運用上の優先順位は最低であるべきものは何ですか？

- A. サイバー関連のイベントまたはインシデントの範囲と影響を定義する
- B. 影響を受けたシステムを隔離し、できるだけ早くサービスを復旧する
- C. 適切な地元の法執行機関に明らかな攻撃を報告する

Answer: C (メッセージを残す)

サイバー攻撃発生直後の運用の焦点は、NIST特別刊行物800-61「コンピュータセキュリティインシデント対応ガイド」で定義された「封じ込め、根絶、復旧」サイクルに定められています。この枠組みにおいて、地元の法執行機関への報告（オプションC）は、即時の技術的対応と比較して、運用上の優先度が最も低いとされています。報告は法的およびコンプライアンス上不可欠な手順ですが、マルウェアの拡散を阻止したり、重要なビジネス機能を復旧したりするものではありません。

最優先事項は常に「範囲と影響の定義」（オプションA）です。特定していないものは修正できないためです。これには、どのシステムが侵害されているか、攻撃が継続中かどうかを特定するためのフォレンジック分析が含まれます。次に重要なのは「影響を受けたシステムの隔離」（オプションB）です。これは、「デジタル世界における「人命安全」」に相当します。インシデント対応チームは、感染したサーバーやネットワークセグメントを切断することで、攻撃者の「横方向の移動」を防ぎ、残りの資産を保護し、サービスの復旧に備えます。

IBFCISM CEDP知識体系によれば、緊急管理者は以下を区別する必要がある。

「技術対応」と「捜査支援」。法執行機関の主目的は訴追のための証拠保全ですが、これは組織の迅速なサービス復旧ニーズと相反することがあります。そのため、適切に設計されたインシデント対応計画（IRP）は、技術チームがまず「患者」（ネットワーク）の安定化を確実に行うようにするためのものです。脅威が無力化され、その影響が理解された場合にのみ、組織はリソースを外部への報告と法的手続きに移行する必要があります。ほとんどの地域的なサイバーインシデントでは、FBIやCISAなどの連邦機関の方が地域の法執行機関よりも重要度が高いことが多く、対応の高ストレスな実行段階では「地域」報告の優先度がさらに低くなります。

Valid CEDP Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing CEDP Exam!

GoShiken.com now offer the **newest CEDP exam dumps**, the GoShiken.com CEDP exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com CEDP dumps with Test Engine here:

<https://www.goshiken.com/IBFCSM/CEDP-mondaishu.html> (148 Q&As Dumps,
30%OFF Special Discount: **Freepdfdumps**)